

- ・企業誘致分野での自治体連携には限界があるため、現在、「パーツネット北九州」や同様の企業グループとの連携事業の実施に向けて、関係自治体との協議を進めている。

b) 「パーツネット北九州」企業紹介冊子作成

**【実施体制】**

- ・パーツネット北九州（北九州市及び周辺地域の企業94社で構成）

**【取組内容】**

- ・「パーツネット北九州」は北九州市及び周辺地域の自動車関連企業94社が加盟している団体で、北部九州での自動車生産台数150万台体制を下支えしている。
- ・その目的は、北九州地域の産業振興のため、地域の力を結集して自動車部品関連企業の事業拡大および新規参入を促進するとともに、他地域とも連携し、北部九州での部品の現地調達率の向上（Buy九州運動）を目指している。
- ・今回、加盟企業の強みをアピールする手段として、全94社の技術、活動など企業概要を記載した冊子を作成し、顧客となりうる大手部品メーカー等へ提供する。

**【関係団体との連携・調整状況】**

- ・北九州市及び、北九州市内外の会員企業94社が一体となって、新たな受注に向けて取組んでいる。

**【事業の効果、課題及びその解決方法】**

- ・今後、冊子を九州各地の大手部品メーカー等に配布することにより、「パーツネット北九州」会員企業のさらなる受注獲得に結び付けていく。
- ・また、現在、「パーツネット北九州」や同様の企業グループとの連携事業の実施に向けて、関係自治体との協議を進めているところであり、同冊子を活用して、東九州エリアの広域ネットワーク構築に結びつける。

②新たな成長分野に関するニーズ、シーズ調査の実施及び研究会の開催

a) 『3D技術活用に関するアンケート調査』の実施

**【実施体制】**

（公財）北九州産業学術推進機構

**【取組内容】**

- ・北九州都市圏域（北九州市を除く）のものづくり企業430社に対し、3次元技術のニーズ及びシーズ調査（3次元技術《3DCAD/CAM/CAE/3Dプリンタ/3次元測定器等》の導入状況・目的・用途・効果・導入計画・問題点などを複数選択方式で行う）を実施した。

◆対象：直方市、行橋市、中間市、豊前市、宮若市、苅田町、みやこ町、築上町、吉富町、上毛町、鞍手町、水巻町、芦屋町、遠賀町、岡垣町、小竹町の企業430社（約650事業所）

◆調査方法：アンケート方式

◆調査項目：3次元技術（3DCAD/CAM/CAE/3Dプリンタ/3次元測定器）の導入状況・目的・用途・効果・導入計画・問題点など。

◆調査期間：平成26年10月24日（金）～11月7日（金）

◆回収結果：97社（回収率22.6%）

#### 【関係団体との連携・調整状況】

- ・北九州市と（公財）北九州産業学術推進機構が協議しながらアンケート調査を実施した。

#### 【事業の効果、課題及びその解決方法】

- ・北九州都市圏域のものづくり企業における3次元技術の活用実態を把握し、企業ごとの特徴や業種、地域の特性を理解でき、企業支援を実施する上での貴重な情報が得られた。
- ・また、その調査結果を活用し、次の『3D技術活用に関する研究会』を開催し、3D技術活用に関する研究会の方向性を明確にすることができた。
- ・北九州地域企業における3Dものづくり技術の導入活用に関する調査において国内の相場に比べて活用が遅れているため、今後導入活用を推進し企業の生産性の向上を図る必要があるといった課題がある。

#### b) 『3D技術活用に関する研究会』の開催

##### 【実施体制】

（公財）北九州産業学術推進機構

##### 【取組内容】

- ・3D技術活用に関する研究会を創設し、コーディネーター1名と補助員1名が研究会活動を企画した。
- ・第1回の部会として、北九州市内企業の3Dものづくり技術活用の実態調査結果と、最新のCAD/CAMシステム及びその活用事例について紹介するセミナーを開催した。
- ◆セミナー名：「次世代3Dものづくり技術の活用に向けて ～北九州の現状と最新事例～」

◆概要：①「北九州における3Dものづくり技術活用の現状」

横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 竹田陽子

対象企業分類一覧

業種名（中分類）	対象
プラスチック製品製造業	39
鉄鋼業	74
非鉄金属製造業	6
金属製品製造業	113
はん用機械器具製造業	45
生産用機械器具製造業	72
業務用機械器具製造業	8
電子部品・デバイス・電子回路製造業	9
電機機械器具製造業	34
情報通信機械器具製造業	1
輸送用機械器具製造業	51
その他の製造業（「工業用模型製造業」含む）	6
技術サービス業（「機械設計業」「非破壊検査業」含む）	6
合計	430

## ②「新しいものづくりへの挑戦」

コダマコーポレーション株式会社 代表取締役社長 小玉博幸

- ◆日時：平成26年10月31日（金）15：30～17：30
- ◆場所：北九州学術研究都市 遠隔講義室1（北九州市若松区ひびきの2-1）
- ◆参加人数：51人（36団体）

### 【関係団体との連携・調整の状況】

- ・横浜国立大学大学院 環境情報研究院 竹田教授や、株式会社ブレインバス CEO（3次元技術研究に関する専門家）と協議し、3Dものづくり技術の導入・活用を支援する観点から、今後の研究会の進め方等について調整した。

### 【事業の効果、課題及びその解決方法】

- ・北九州地域企業における3Dものづくり技術の導入活用に関する調査において国内の相場に比べて活用が遅れているため、今後導入活用を推進し企業の生産性の向上を図る必要がある、といった課題がある。
- ・公的な支援策のあり方を検討すること、研究を進めていくこと、技術支援等の課題が明らかになり、3D技術活用に関する研究会の方向性を明確にすることができた。
- ・今後の取り組み方針としては、ものづくり企業の連携を図り、協同して革新的ものづくり基盤技術の情報収集や導入による競争力強化の進め方、持続的に成長・発展させていくための研究を行う場として本研究会を利用するものとする。また併せて、北九州市・都市圏域の革新的ものづくり基盤技術に関連する既存の各機能（大学、高専、公設試やファブラボなどの民間共同施設）をつなげ、導入・活用・発展を地域一体として進めていく。



研修会風景

## ③中小企業の知的基盤、技術力・研究開発力の底上げを図るためのセミナーの実施

### a) 『圏域内の半導体・エレクトロニクス関連中小企業のセミナーニーズ調査』の実施

#### 【実施体制】

（公財）北九州産業学術推進機構

#### 【取組内容】

- ・北九州市及びその周辺地域の中小企業等との関わりが深い（公財）北九州産業学

術推進機構のコーディネーターに対して、ニーズに関する事前ヒアリングを行った上で、圏域内の企業に聞き取り調査を実施した。

**【関係団体との連携・調整の状況】**

- ・圏域を構成する市町の産業等の振興に携わる担当部署を直接訪問し、事業実施に関する協力と、市町域内の関係企業等への周知を依頼した。

**【事業の効果】**

- ・企業の聞き取り調査の中で、もっともニーズの高かった『LED駆動技術』と『マイコン活用』分野の各セミナーを実施した。

b) 『LED駆動技術実習講座』の開催

**【実施体制】**

(公財)北九州産業学術推進機構

**【取組内容】**

- ・LED駆動技術の基本から応用までを解説し、実際に基板上に回路を構成して動作させることによりLED駆動技術に慣れることを目的とした講座を開催した。

◆日時：平成26年1月22日（木）9:00～17:00

◆場所：北九州学術研究都市 情報技術高度化センター開発センター棟3F 評価研修室

◆受講対象者：LEDを使うアプリケーション開発技術者  
LED照明等開発技術者

◆講座受講者：20名（うち北九州市外 4名）

[LED 実験回路基板]



製作前部品



製作後完成品

[受講風景]



講師と受講者



実験風景

### 【関係団体との連携・調整の状況】

- ・圏域を構成する市町の産業等の振興に携わる担当部署を直接訪問し、事業実施に関する協力と、市町域内の関係企業等への周知を依頼した。

### 【事業の効果、課題及びその解決方法】

- ・講座の実施により、必要とされる知識、技術力の育成に貢献することができ、また、講師と受講者だけでなく、受講者間の交流も行われ、本業務の目的である「新たなアプリケーション創出における圏域内中小企業の知的基盤、技術力及び研究開発力の底上げ」に寄与できた。
- ・其々の地域で各々の人材育成に取り組むことの無駄を省き、広域で行うことで、圏域内全体の経費、人件費などを削減し、他の必要な事業に当てられれば、地域の活性化、効率化を更に図ることが可能となる。

### c) 『PICマイコン活用基礎講座』の開催

#### 【実施体制】

(公財)北九州産業学術推進機構

#### 【取組内容】

- ・半導体を使ったアプリケーション開発において、開発したアプリケーション自体や、その周辺機器などからセンシングした情報を活用してアウトプットにつなげるなど、制御系部分にPICマイコンを活用するための基礎講座を開催した。
  - ・PICマイコンの開発の流れや、C言語プログラミングによる制御プログラムの記述など、実習を通して、PICマイコンの使い方を学習した。
- ◆日時：平成26年1月26日(月) 9:00～17:00
  - ◆場所：北九州学術研究都市 情報技術高度化センター開発センター棟3F 設計研修室
  - ◆受講対象者：①半導体を使うアプリケーション開発技術者  
②半導体・エレクトロニクス分野に関わる技術者  
③シーケンス制御に携わる技術者
  - ◆講座受講者：36名 (うち北九州市外 16名)

#### [受講風景]



講座風景



講師・受講者質疑応答